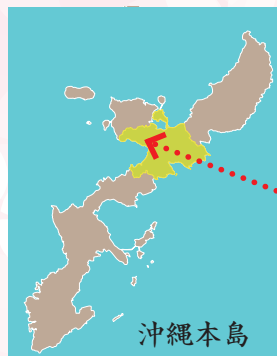


名護市&八幡平市が合同でさんさ踊り 第56回名護さくら祭りで交流を深める

（写真の一部は名護市より提供）



両市合同でさんさ踊り
沖縄県名護市で1月27日と28日の両日「日本の春はここからはじまる」をキャッチフレーズに、第56回名護さくら祭りが開催されました。
2日目の仮装行列パレードでは、本市のさくらさんさ愛好会25人と名護中央公民館講座で盛岡さんさ踊り体験を受講した名護市民16人の合同チームが出場しました。
合同チームは、スタート地点からひんぷんガジュマルと呼ばれる巨木があるゴール地点までの約600mを、太鼓を打ち鳴らし、笛を響かせながら盛岡さんさ踊りを披露。沿道の人たちは、カメラを向けたり、手を振ったりして声援を送っていました。
合同チームの参加は「広報はちまんだい」の前担当である宮城有沙さん（27・28年度名護市からの派遣職員）が、盛岡さんさ踊りに魅力を感じて「名護さくら祭りでも披露したい」という願いが1年越しに実現したもの。職員から市民へと、交流の輪が広がっています。



名護市 DATA
人口：62,840人
（平成29年12月31日現在）
面積：210.37km²
市のシンボル：ガジュマル、ヒカンザクラ、リュウキュウメジロ、テッポウユリ、コノハチョウ、スイジガイ、シロギス

友好都市締結から30年

沖縄県名護市と旧松尾村は昭和63年1月28日に「桜」が縁で友好都市提携を締結。八幡平市誕生後、親善の絆とその精神を引き継ぎ、平成19年1月27日に本市と友好都市提携を締結しました。
最初の締結から今年でちょうど30年。児童たちによる交流や、両市の産業まつりへの相互出展、市役所職員の相互派遣など、盛んに交流が続いています。

名護市でさんさ踊り体験

名護市は、名護さくら祭り仮装行列出場に向けて参加者を募り、昨年の12月19日から計8回、盛岡さんさ踊りを体験する名護中央公民館講座を初めて開催しました。
講座では、宮城さんや座喜味盛一郎さん（26年度名護市からの派遣職員）・彩さん夫妻が講師となり、受講者に盛岡さんさ踊りを指導。参加者は練習に励み、仮装行列に臨みました。



1_本番に向けて練習に励む受講者。2_「幸呼来〜チョイワヤッセ〜」と声を掛けながら踊ります。3_ゴール地点のひんぷんガジュマル前で沿道の声援を受けながらさんさ踊り（福呼踊り）を披露。4_左からH28名護市へ派遣・三浦裕子さん、宮城有沙さん、現在名護市から派遣中・伊波寿々歌さん、現在名護市へ派遣中・柳澤大輔さん、名護市役所職員・仲里哲之さん、座喜味盛一郎さん



名護中央公民館講座に喜んで参加 沿道の人たちの温かい声援に感動

私は名護市にある名桜大学に通っていますが、出身は岩手県洋野町です。今回、盛岡さんさ踊りの体験講座があるとお誘いを受け、とても良い縁だと思って喜んで参加させていただきました。
八幡平市さくらさんさ愛好会の人たちと一緒にパレードに出場したときは、沿道からの温かい声援もあり、とても楽しく踊ることができました。
沖縄と岩手は離れていますが、人のつながりの強さを実感し、とてもうれしく思いました。



八幡平さくらさんさ愛好会 代表
山口 聡子さん
＝上野 駈＝

名護さくら祭りに初のさんさ踊り 市民合同で参加できたことに感謝

今回、初めて友好都市である名護市のさくら祭りに参加させていただきました。
名護市から派遣された職員は、練習やパレードに出場して、同じ汗を流してきました。その仲間がいる沖縄に行きたいという思いがありました。
今回、名護市の人たちと合同でパレードに出場できたことに感謝いたします。
今後も名護市との交流を続けていきたいと思っています。